

今回は

家庭科部

を取材しました!

美味しさと笑顔が光る 黄金の午後



副会長
寺戸 慶次郎

4階家庭科室のドアを開けると、そこにはほんのりと小麦粉の匂いが香る暖かな空間が広がっていた。和気藹々とした雰囲気は、作るお菓子に幸せのスパイスを効かせている。
オーブンの焼きあがる音は楽しい時間の始まりを告げる調べ。おいしいお菓子を召し上げられ!

**そうだ、お菓子
食べよう。**

創造性とアットホームさでは他の部活に負けない! 圧倒的な緩さと和やかさで包み込まれた空間は、静けさの中にもどこか温かみを感じるものがあった。
完成したお菓子から香るいい匂いには思わず腹の虫が大騒ぎするほどだった。



今回作ったパンプキンパイ

家庭科部は週に1日、月曜日に活動しています。活動内容はその日作りたいと思うたものを作るという、非常に自由度の高い部活です。
現在2年生2人、1年生3人の計5人で活動しています。そのうち2名が他部活との兼部をしています。料理の経験などは全く必要なく、「お菓子が食べたいから」という理由で入部した部員が大半を占めていて、お菓子好きの人には特にオススメです。

今年度は女子部員のみですが、男女関係なく歓迎していることで、男子生徒にもぜひ入部してもらいたいです。
人数の少なさをゆえに1,2年の上下関係なしにみんな仲良くなれるのは大きな魅力だと思います。

部員インタビュー

Q、今回は何を作っているのですか?

A、今回はハロウィーンが近いのでパンプキンパイを作っています。パイの生地を表面につやを出すために卵白をぬるので、その余った卵白でラングドシャを作ります。

Q、コロナウィルスの影響で変化したことはありますか?

A、大きな変化は学校で実食ができなくなったことです。既製品とは違い、一から作るので規制が厳しくなっています。作ったお菓子は各自で家へ持ち帰るといった形になっています。また、マスクの着用や手洗いは今まで以上に徹底するようになりました。

Q、やはり家庭科部の売りはなんですか?

A、やっぱりお菓子や料理が食べられるというのが一番の売りですね。
文化祭では作ったお菓子を販売したのですが、開始10分で売り切れてしまうなど、生徒からの人気が高く、みんなに自分の作ったお菓子を食べて喜んでもらえるのは魅力だと思います。

また、部員同士の仲の良さも特徴です。5人という少ない人数だからこそ、1,2年生の交流が盛んで、仲も深まるので、部活全体でもとても良い空間が形成できているのではないかなと思います。

作れるものが限られている中で、自分たちで作りたいもののレシピや材料を持ち寄って食品を作るという経験は良い勉強になっていると思います。

Q、受験生(中学3年生)にメッセージをお願いします!

A、受験勉強は大変だと思えますが、最後まであきらめずに頑張ってください!
家庭科部は何人でも部員を募集しています! 緩いし兼部もできてお菓子も食べられるので、ムサキタに入学したときにはぜひ入部してほしいです! お待ちしています!

以上です。ご協力ありがとうございました!

家庭科部の詳細については、ホームページに記載されているので、気になる方・興味のある方はぜひご覧ください!

